

戦後70年 アジアの国ぐにとの

和解・友好へ



日本共産党は、戦後70年の節目の年が日本とアジア諸国の「和解と友好」の年となるため、「5つの基本姿勢」を提唱しています。

日本共産党

①「村山談話」「河野談話」 談話の核心的内容—「植民地支配と侵略」への「痛切な反省と心からのお詫び」—を継承し、談話の精神にふさわしい行動をとる。

②日本軍「慰安婦」問題 被害者への謝罪と賠償など、人間としての尊厳が回復される解決に踏み出す。

③靖国参拝 少なくとも首相や閣僚による参拝は行わないことを政治のルールとする。

④ヘイトスピーチ 民族差別をあおるヘイトスピーチを根絶する。

⑤教科書 侵略戦争と植民地支配への反省を、学校教科書に誠実・真剣に反映させる努力をつくす。

靖国神社は戦中、国民を戦場に動員する道具とされ、現在も侵略戦争を美化・宣伝し、A級戦犯を犠牲者

靖国神社

としてまつる特殊な施設です。靖国参拝は、侵略戦争肯定の立場に身を置くことを内外に宣言するものです。

戦争法案に反対します 日本共産党

内閣総理大臣
安倍晋三殿

【要望事項】 一、「戦争法案」を廃案にすること

氏名	住所

取扱団体 ● 日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号

【お願い】 この署名は、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6975-9115にお送り下さい。

終戦
70年

「戦争する国」許さない

ストップ! 戦争法案



戦後70年の夏を迎えました。

日本の侵略戦争は2000万人を超えるアジアの人びと、300万人を超える日本国民の生命を奪いました。その悲しみと反省のうえに、「二度と戦争をしない」と誓ったのが日本国憲法です。

憲法の重みかみしめよう

戦後、一人の外国人も殺さず、一人の戦死者も出さなかったのは、安保条約や「抑止力」のおかげではありません。憲法9条が存在し、平和を希求する国民の世論と運動があったからです。

ところが安倍政権は、あの戦争への反省もなく、9条を全面的に破壊する戦争法案を今国会で強行しようとしています。再び日本を「海外で戦争する国」にする戦争法案を廃案にするため、今こそ声をあげましょう。



焼き場に立つ少年 1945年長崎。亡くなった弟を背負い直立不動で火葬の順番を待つ少年。(撮影：ジョー・オダネル氏)

日本共産党

近畿民報

2015年8月 No.2(第206号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

折り目